

【事務事業調査】

事務事業名	デマンドバス実験運行事業費			予算科目 コード	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業
担当部課	総務企画部 地域安全課	担 当 サブリーダー	危機管理担当 阿久津 道央	事業の分類	新規事業

■事務事業の概要

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か？	どのような成果が現れます(現れました)か？
計画	公共交通策定委員会により策定された計画を具現化し、高根沢町の公共交通システムの再構築を図る。既存の公共交通・町営バス(福祉バス・元気あっぷバス・スクールバス)を平成21年度は、関係機関などの調整を行い地域公共交通会議(道路運送法に基づき)を設置し、10月の運行開始を目指します。	交通弱者を中心として、より多くの人が便利に親しめる交通システムの構築をしますが、同時に需要と供給のバランスを基本とし、効率性・経済性にも配慮したシステムになります。
実績	公共交通会議を設置し策定された地域公共交通総合連携計画を検討しながら公共交通システムの総合的な見直しをし、ドアtoドアのデマンド交通システムを導入しました。導入にあたっては年度前半に各団体や地域別に内容の説明を行い利用方法等の周知を徹底し、10月から試験運行を開始しました。愛称も公募し「たんたん号」としました。	試験運行開始した10月から3月までの延べ利用人数は、18,169人で、利用内容としては、元気あっぷ・宝積寺駅等の公共機関までの交通手段や医療機関への通院、買い物等の交通手段等多岐に渡っています。利用者の年代については、高齢者が7割を占めるものの各年代にわたり利用されています。交通弱者と言われる高齢者等をはじめ、すべての人が安心して手軽に利用できる「地域の足」としての役割を担っています。

■活動指標

指 標	目 標 値	達 成 値	特 記 事 項
デマンドバス利用者数	12,600人	18,169人	運行開始目標月を明示する。(10月開始) 1日70人×30日×6ヶ月=12,600人

■事業費(計画)

細 節	金 額
1 報償金	220,000
2 消耗品	20,000
3 印刷製本費	40,000
4 委託料	10,000,000
5 備品購入費	25,000,000
6	
7	
8	
	35,280,000



■事業費(当初予算)

細 節	金 額
1 報償金	131,000
2 消耗品費	0
3 印刷製本費	40,000
4 通信運搬費	154,000
5 委託料	15,000,000
6 使用料及び賃借料	58,000
7 備品購入費	17,200,000
8	
	32,583,000



■事業費(実績)

細 節	金 額	特 記 事 項
1 報償金	131,000	
2 消耗品費	0	
3 印刷製本費	40,000	
4 通信運搬費	153,425	
5 委託料	14,123,200	
6 使用料及び賃借料	57,780	
7 備品購入費	16,580,466	
8		
	31,085,871	

■事業経費

		計 画	実 績	特 記 事 項
予 算	当初予算額		32,583,000	
	補正予算額		0	
	流用額		0	
	予算現額		32,583,000	
決 算	決算額		31,085,871	
財 源	国庫支出金		7,299,704	
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計	0	7,299,704	
	差引(一般財源)	35,280,000	23,786,167	